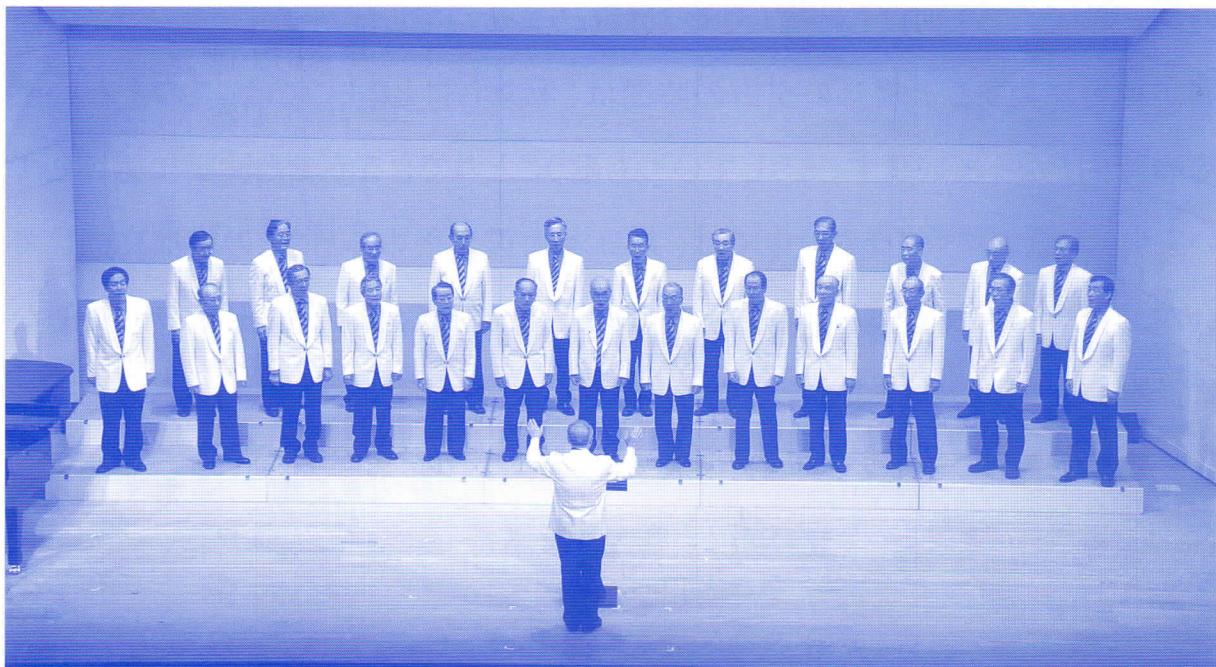


横浜さかえ男声合唱団

第8回 定期演奏会



平成27年5月17日(日)

開演 14時

横浜市 栄公会堂ホール

後援/栄区役所 栄区文化協会 栄区音楽協会

ご挨拶

本日は皆様ご多用の中、横浜さかえ男声合唱団の定期演奏会においていただきありがとうございました。私たちは本格的な活動を始めてから今年でほぼ25年を迎え、定期演奏会も今回が8回目になりました。これはご来場いただけるお客様あってこそ続けることができるものと感謝の気持ちで一杯です。定期演奏会に備えて、むずかしい歌は長い時間をかけて仕上げましたが、聞きなれた歌でも、男声4部のコーラスとなると何度も練習しなければなりませんでした。しかし、コーラスの仲間が練習に集まる土曜日の夕方の時間は、私たちにとりましては、この上ない至福の時間となっています。こうしていつも歌うことのできる幸せと健康に感謝しています。本日のプログラムの中では、東日本大震災後のふるさとの復興に向けて、今なおご尽力されておられる方々に想いをはせ、東北地方に伝わる代表的な民謡を心をこめて歌います。

どうか、私たちのこれまでの練習の成果を、ごゆっくりお楽しみ下さい。

横浜さかえ男声合唱団 一同

プログラム

司会 田畠 智朱希

第1ステージ 男声合唱組曲 「雪と花火」

北原 白秋 作詞 多田 武彦 作曲

指揮 堀部 隆二

(I) 片 恋

(II) 彼岸花

(III) 芥子の葉

(IV) 花 火

第2ステージ 日本民謡

指揮 堀部 隆二／ピアノ 首藤 亜希

最上川舟唄

南部牛追い唄

会津磐梯山

八戸小唄

斎太郎節

休憩

第3ステージ 愛唱歌

指揮/編曲 角 祐一 / ピアノ 首藤 亜希

梢

北川 冬彦 作詞

高田 三郎 作曲

波

奥野椰子夫 作詞

石河 清 作曲

城ヶ島の雨

北原 白秋 作詞

梁田 貞 作曲

初恋

石川 啄木 作詞

越谷達之助 作曲

「筑後川」より 河 口

丸山 豊 作詞

團 伊玖磨 作曲

第4ステージ 男声合唱組曲 「パウラ」

いそべ かず 作詞 磯部 健 作曲

指揮 堀部 隆二 / ピアノ 飯田 由紀子

1. 思い出のリューデスハイム Slow Waltz

2. ひとりぼっちのベルリン Rumba

3. 乾杯、ミュンヘン Jitterbug

パパゲーノの詠唱の音楽 (モーツアルト)

4. ザルツブルクの幻想 Tango

5. 花ひらくウィーン Waltz

曲 目 解 説

第1ステージ 男声合唱組曲「雪と花火」

男声合唱の名曲を数多く作曲している多田武彦1957年の作品です。東京に移り住んで間もない作曲者が、東京の風物の印象を合唱組曲に表現しました。初演は作曲者の弟が在籍していた同志社大学グリークラブです。作曲者いわく同志社大学グリークラブは「藍色のハーモニー」だそうで、その色彩感がこの組曲にも表れているように感じられます。

片 恋

絵画を見るような色彩感と少々艶めかしさが漂う歌詞が情感をこめて歌われます。「曳き船」とは、東京スカイツリーが建っている近くを当時流れていた運河を行きかう船の様子を歌っています。(現在は東武線、京成線の駅名に名残をとどめています)

彼 岸 花

「にくいおとこの心臓を針で突こうと」衝撃的な歌詞で歌い始め、詩人白秋が女性との関係で葛藤の最中にあったことを伺わせます。この曲は1955年全日本合唱コンクール課題曲公募で佳作を受賞しています。

芥子の葉

初演当時は「芥子」を「からし」と読み、数ヵ月後「けし」と読み替えました。白秋がスキャンダルにまみれ、「かもさびし」「なんのゆかりもない」と厭世的な気分に陥っている心情が歌われています。この後、白秋は城ヶ島対岸の三崎に移り住み、第3ステージで歌われる「城ヶ島の雨」を作ります。

花 火

終曲に「花火」を配置したのは、作曲者がドビュッシーの前奏曲集「花火」を好んでいたからと言われています。組曲の中で最も規模が大きいこの曲は、両国の夜を彩る情景を歌っています。花火を眺めながら、美しく華々しく上がっては、散っていくその様子に、白秋自身の当時の境遇を重ねていたのかもしれません。

第2ステージ 日本民謡

東北地方の皆様へ、復興へのエールをこめて、このステージを構成しました。

最上川舟唄（山形県）

昭和11年にNHK仙台放送局が「最上川を下る」という番組を制作した際に作曲されました。男声合唱の作曲は清水脩で、追分節と掛け声が見事に組み合わされています。

牛追い唄（岩手県）

沢内村から盛岡城下まで年貢を納めるために、米を牛の背中に乗せて運んでいました。バッパパパは三尺くらいの棒で牛を追いたてる掛け声です。沢内村から盛岡まではかなりの距離があり、当時の苦労が哀愁をおびた旋律から想像されます。

会津磐梯山（福島県）

元は会津地方の盆踊り歌でしたが、昭和9年小唄勝太郎のレコードにより、有名になりました。歌詞は会津民謡の玄如節から転用されています。歌詞は何と三十番まであるのですが、本日は出だしの2番までを歌います。

八戸小唄（青森県）

昭和6年当時の八戸市長の呼びかけで八戸鮫港の築港完成を祝って作られた曲です。男声合唱版の編曲は多田武彦で、ゆったりした旋律により港町の情緒が歌われます。

斎太郎節（宮城県）

斎太郎とは、南部藩のたら師として銭の鋳造に関わっていた人と伝えられています。その斎太郎が遠流の身となった際に、宮城県に立ち寄り南部伊達藩のたら唄を伝え、その節が斎太郎節の原型になっています。大漁の喜びを高らかに歌い上げたこの曲を通して、東北地方の皆様へ元気をお届けしたいと思います。

第3ステージ 愛唱曲

1.「梢」

高田三郎といえば「水のいのち」の作曲家として有名ですが、比較的初期の作品に「季節と足跡」という男声合唱組曲があります。その第4曲の「梢」は私たちの前身である栄区民合唱団男声部として歌っていたころからの愛唱曲で当時のメンバーにとっては、20年ぶりにうたう懐かしい歌でもあります。

2.「波」

この曲は昭和36年度の全日本合唱コンクールの課題曲として作曲されたものです。今ではこの曲を歌う合唱団も少なくなりましたが、時には荒々しく、また時には静かに砂浜に消える波というテーマは男声合唱で表現する格好のテーマであり、忘れたくない歌の一つです。

3.「城ヶ島の雨」

島村抱月が芸術座の音楽祭のために、大正2年に北原白秋と梁田貞に依頼して作曲されました。白秋は当時三崎に住んでいましたが、対岸に見える城ヶ島が雨にけむる様子を描いたものです。「利休鼠」というのは、緑色を帯びた灰色で抹茶色のことですが、抹茶色が茶道の大成者千利休にちなんで利休色と江戸時代から呼ばれていたのが由来と言われています。白秋の詩は多くの作曲家が歌曲にしておりますが、これが作曲された第1号作品となっています。

4.「初恋」

この曲は昭和13年に越谷達之助が発表した歌曲集「啄木に寄せて歌える」の第1曲目の作品です。啄木の短歌にもたくさんの曲が作られていますが、この初恋は中でも歌われる機会の多い曲といえましょう。啄木自身は糺余曲折の末初恋の人と結婚していますが、赤貧にあえぐ中で決して幸せな家庭生活だったとはいはず、病を得て26歳の若さで亡くなっています。

5.「河口」

昭和43年に團伊玖磨が九州のアマチュア合唱団の委嘱で作曲した「筑後川」は今でも多くの混声合唱団に歌われていますが、中でもその終曲「河口」は佐藤真作曲の「大地讃頌」と共に中学高校などの卒業式にもよく歌われる人気曲になっています。混声合唱の名曲「河口」男声版をお聞きください。

第4ステージ 男声合唱組曲「パウラ」

昭和63年10月30日磯部先生のお宅で、奥さんの和さん誕生パーティーが開かれ、その時に新曲「思い出のリュウデスハイム」が披露されました。この歌は実際に踊れるスローワルツの曲という事で作曲された歌でしたが、それをその場で初演したのは誰であろう堀部先生だったので。ダンス教師の資格を持つ堀部先生は、なんと磯部先生のダンスの教師だったので。そんな関係で磯部先生と親交のあった堀部先生が、バイオリンとピアノ伴奏でこの歌を独唱されたのですが、旅の青年がリューデスハイムで美しい女性パウラと知り合い、別れるまでを歌ったこの美しいワルツの調べにその日誕生パーティーに出席した皆がうつとりしたそうです。そこに居合わせた「いそべ男声合唱団」のメンバーから是非この続きを書いて組曲にして下さい、とお願いされた磯部先生は、翌年1か月のドイツ取材旅行に出かけられ、昭和64年4月にこの組曲が完成しました。

1. 思い出のリュウデスハイム（スローワルツ）

パウラと出会ったリュウデスハイムです。

2. 一人ぼっちのベルリン（ルンバ）

ベルリンに旅した若者がパウラを思って歌います。

3. 乾杯ミュンヘン（ジルバ）

ミュンヘンのビアホール「ホフブロイハウス」で見知らぬ青年たちと若者は悩みを忘れて飲んで歌つて踊ります。

パパゲーノの詠唱の音楽（モーツアルト）

4. ザルツブルクの幻想（タンゴ）

若者はオペラ「魔笛」の舞台の中に入るという幻想的な夢を見ます。

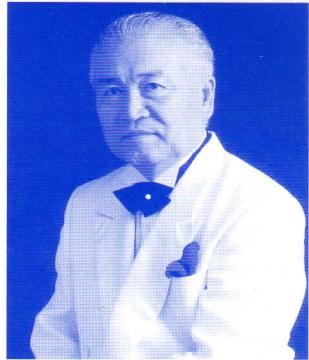
5. 花ひらくウイーン（ウインナワルツ）

若者はウイーン国立劇場で踊るパウラをついに見つけました。二人の恋はめでたくウイーンでハッピー エンドになります。

プロフィール

常任指揮者 堀部 隆二

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業 二期会会員(テノール)
畠中良輔、酒井弘、大熊文子諸氏に師事。イタリア・ミラノへ留学。マリア・カルボーネ、アリゴ・ポーラ氏に師事。
二期会・イイノホール主催「新進声楽家のタベ」のジョイント・リサイタルでのデビュー以来、数多くのリサイタル、コンサート、オペラに出演。
ヤナーチェック作曲のオペラ「イエヌーファ」の日本初演(若杉 弘指揮)では、スチーバ役で出演。
一方、「声楽発声」に大変興味と関心を持ち、東京藝術大学在学中より現在の声楽発声学会の会員となり理事を務めた。現在も、声楽発声教師として多くの声楽家を育てている。
また、長年、清泉女学院中学・高等学校の音楽教師として教育活動に携わり、同校の元教頭。
現在、横浜さかえ男声合唱団、湘南アマデウス合唱団、葉山第九合唱団、カトリック藤沢教会聖歌隊の常任指揮者を務めるとともに、柞の森音楽祭総監督・実行委員長を兼任している。



団員指揮者 角 祐一



高校時代に初めて聞いたコーラスに感動しその魅力の虜になった。大学グリークラブでは、2年次に副指揮者、3年次4年次を通して正指揮者として活躍する。現在は団員指揮者として、堀部先生と隔週で練習を担当している。2005年神奈川男声合唱協会演奏会でデビュー、第2回定期演奏会から1ステージを指揮している。2007年11月にさかえ男声有志で“さかえダンディーズ”を結成した。以後毎月1~2回のペースで施設訪問を行い、唱歌、抒情歌、懐かしい歌謡曲などの演奏で大いに喜ばれている。2009年からはいそべとし記念男声合唱団の団員として磯部作品を中心とした男声コーラスを楽しむ傍ら、須賀敬一先生に師事して指揮法の研鑽を積んでいる。2011年4月から1年間FM戸塚で毎週土曜日に様々なジャンルの歌をコーラスで紹介する番組「コーラスでの歌この歌」のDJをつとめたが、ソフトな語り口でのわかりやすいナレーションが各方面で絶賛された。2015年4月から「いずみメールクワイア」指揮者。

ピアニスト 飯田 由紀子

国立音楽大学ピアノ科卒業。ピアノを田口順子氏、芝治子氏に師事。「コール・フォンテ(女声合唱団)」の伴奏のほか、朝日カルチャーで、シャンソンの伴奏を担当。現在、「横浜さかえ男声合唱団」の伴奏者。



ピアニスト 首藤 亜希



東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第40回鎌倉市学生音楽コンクール総合第1位。鎌倉市長賞、野村光一賞受賞。第19回ピティナ・コンペティションF級全国大会銅賞。
大学在学中に学内オーディション合格、モーニングコンサートにて藝大フィルと共に演。また、大学院では学位審査により選抜され、東京工業大学管弦楽団と共に演。PTNA会員。鎌倉音楽クラブ会員。
これまで平塚久子、日比谷友妃子、田辺緑、迫昭嘉、角野裕の各氏に師事。

現在、ソロの他、合唱伴奏、アンサンブルなどで活動し、後進の指導にも意欲的に取り組んでいる。

司会 田畠 智朱希

県域のラジオ放送局などの経験を経て、現在、藤沢エフエム放送株式会社レディオ湘南にて広報番組や音楽番組のパーソナリティーを担当。その他、式典・披露宴・イベントの司会、マラソン大会のMC、JRAの館内アナウンスなども担当し活動中。



団員名簿

♪Top tenor

浅田 一彦	伊藤 正昭	斎藤 和夫	瀬尾 弘吉
武田 和久	◎武部 幸生		

♪Second tenor

塩山 弘	◎角 村 新太郎	長尾 明信	菱山 武

♪Baritone

飯田 擭充	池田 勝敏	◎近藤 純士	清水 錠司
中田 宏	平山 正宏	森 博昭	

♪Bass

◎浅井 豊	鈴木 宏一	角 祐一	竹山 行三
古見 喜八郎	山辺 泰治		

◎パートリーダー

最近の主な活動

- H25. 5 第7回定期演奏会（栄公会堂）
10 栄区民芸術祭・秋の音楽祭「音楽の祭典」出演（栄公会堂）
11 「懐かしのあの歌この歌コンサート」（栄公会堂）
介護老人保健施設「あさひな」訪問演奏
- H26. 5 済生会南部病院コンサート
7 イトヨーカドー店コン（ヨーカドー桂台店）
9 「第2回懐かしのあの歌この歌コンサート」
10 栄区民芸術祭・秋の音楽祭「音楽の祭典」出演（栄公会堂）
- H27. 3 上郷西連合4世代交流「ぬくもり」出演（桂台ケアプラザ）

♪次の演奏会のご案内♪

第3回 懐かしのあの歌この歌コンサート

平成27年11月15日(日) 14:00 開演 栄公会堂

里の秋 荒城の月 想い出の渚 襟裳岬 案山子 その他

前回コンサートで寄せられたアンケートを中心に選曲しました

入場
無料

♪入団のお誘い♪

初心者の方も
大歓迎です!!

私たちと一緒に男声合唱を楽しみませんか!

練習日：毎週土曜日 夜 6:15~8:45 練習場：上郷矢沢コミュニティーハウス

団費：月 3,000円 連絡先：塩山 弘《携帯》090-4844-3316

詳細はホームページ 「横浜さかえ男声合唱団」 検索

みんなで楽しく歌いましょう!

横浜さかえ男声合唱団 団歌

「明日を見つめて」

作詞・作曲 角祐一

一 ゆうやみせまる 丘の上

今宵も集いし われらが仲間

いくたの荒波 のりこえて

ふたたび春を 高らかにうたわん

横浜 さかえ男声 幸あれ さかえ男声

二 しおかぜかおる 横浜の

まちに生まれし われらが仲間

あしたを見つめて 今日もまた

こころ合わせて 高らかにうたわん

横浜 さかえ男声 幸あれ さかえ男声

「遙かな友に」

作詞・作曲 磯部倣
機部倣

一、 静かな夜ふけにいつもいつも

思い出すのはおまえのこと

おやすみやすらかに たどれ夢路

おやすみ楽しく こよいもまた

二、 明るい星の夜は遙かな空に

思い出すのはおまえのこと

おやすみやすらかに たどれ夢路

おやすみ楽しく こよいもまた

三、 寂しい雪の夜はいろいろのはたで
思い出すのはおまえのこと
おやすみやすらかに たどれ夢路
おやすみ楽しく こよいもまた

